



# 芦屋消防潜水隊 誕生

令和3年4月1日、芦屋市に潜水隊が誕生しました。  
「そこに助けを必要とする命がある限り、人命救助の任務を最大限にまっとうする」その思いが誕生に込められています。

問い合わせ  
消防本部警防課 ☎32-2345

## 潜水隊とは？

芦屋の潜水隊は、市内の海やチャネルパーク、池などで水難事故が発生した時、普段は消防隊や救助隊として活動する隊員の中から潜水隊員の任命を受けたメンバーが集結し、水難救助を行う、いわば二刀流の隊員達による選出チームです。



## 潜水隊の発足について 消防署 第2係主査 消防司令補 有馬信之介



これまで市内で水難事故が発生した時、芦屋市消防では水面への救助活動を行ってきました。救助隊員はボートやレスキューボードを活用し、溺れている人の救出に当たっていましたが、水中に沈んでしまった人は、海上保安庁や兵庫県警の潜水隊へ救助を要請するしかありませんでした。要請をしている間にも、時間は刻一刻と過ぎていきます。人命救助の任務を最大限にまっとうするはずの我々が、この状況のままで良いはずがない。その思いが、本市単

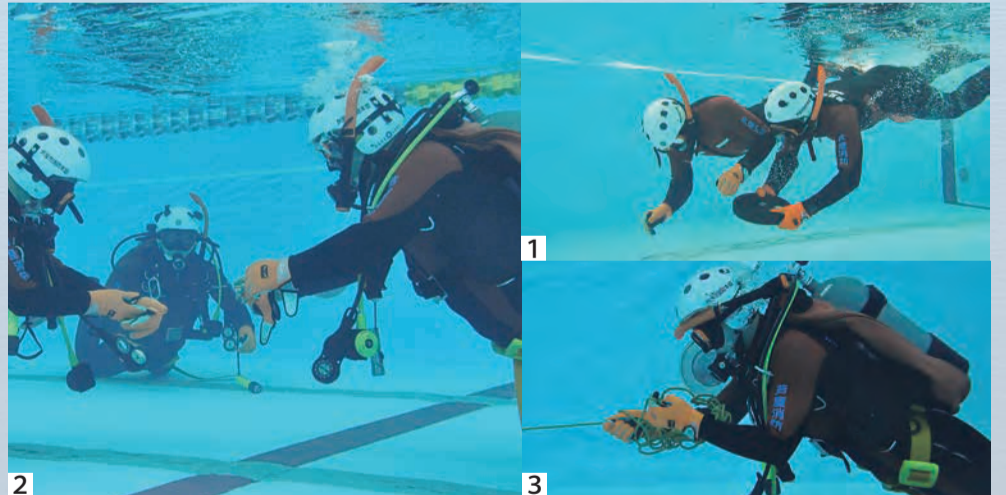
独でも潜水活動ができる潜水隊の発足に至りました。

本市の潜水隊は潜水専門の部隊ではなく、消防隊と救助隊の中から潜水隊員として任命を受けた隊員で構成しています。限られた隊員数で、現実的で効率的な活動ができる体制を作る必要がありました。潜水活動は常に危険と隣り合わせの特殊な任務です。救助活動やその支援、安全管理などやるべきことは多岐に渡ります。任務分担やマニュアルの作成など、隊員たちが安全迅速に活動できるように、多くの人と相談・協議を重ねた結果、今の活動ができる体制ができあがったと思います。

## 海浜公園プールでの訓練

潜水隊員として活動するには、潜水士免許を取得したあと1年の養成期間を必要とします。現在、潜水隊員の任命を受けた隊員は11人(養成員3人を含む)。隊員たちは、潜水技術の向上を目指し、訓練を行っています。

海浜公園プールでの訓練は、隊員2人が重さ10キロの錘を交互に渡しながら25メートルを往復するウォームアップ①や緊急の事態を想定して行う水中での空気ボンベなどの装備の交換・脱着訓練② 検索の際の命綱である検索ロープを操る検索訓練③などを行いました。



## 消防署第1係救助隊長 消防司令補 中島知裕

今回は新人の潜水隊員に対し、潜水隊員に必要な緊急行動と検索救助の技術を習得するための訓練をしました。潜水活動は救助という目的を果たすために、極めて危険を伴う活動であります。ですから、いつも隊員の安全管理や健康状態には注意して訓練しています。

